

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(1月5日～1月11日)

2021年1月13日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 2020年ベラルーシ外貨準備高、約19億ドル減少(1/6)
- 2020年のベラルーシ政府予算速報値公表(1/6)
- 人権団体、2020年8月9日以降、12月31日までのベラルーシ国内逮捕者は2万5千名超と発表(1/8)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ゴリゾント社(当館注:ベラルーシ電子製品製造国営企業)を視察

(1/5 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・大統領就任当初に同社を訪問した際、ソ連崩壊後苦境に立っていた同社の売却を実施しないという決断を下した。私は、同社を売却するつもりはない。
- ・巨大な製造は、我が国のイメージである。生産を拡大する必要がある。
- ・同社のイノベーションセンターの設立を高く評価する。そこでは、IT 専門家や開発者が従事しており、自身の製品を作成している。最近、ハイテクパーク(ベラルーシ IT 産業特区)に並んで、多くの IT イノベーション団体が設立されており、健全な競争という観点から素晴らしいことである。
- ・新型コロナウイルスの影響下にありながらも、同社は良い数字を示している。ベラルーシが製造を止めなかったことは、良い判断であった。

●聖十字架祭記念教会を訪問

(1/7 大統領公式ホームページ)

●シェイマン大統領官房長と会談

(1/11 大統領公式ホームページ)

シェイマン大統領官房長の報告内容は以下の通り。

- ・大統領官房傘下の企業の活動状況は悪くない。売上は昨年対比 40%増加の 26 億ルーブルであった。特に農業、工業、建設業が好調であった。新型コロナウイルスの影響で、ホテル業界、観光業、外食産業は

調子が悪かった。

- ・貿易収支は、約 1 億 5 千万ドルの輸出黒字であった。アフリカ諸国と機材納入の契約を締結した。トラクター工場の建設についても協議されている。

●ファゼル国際アイスホッケー連盟会長と会談

(1/11 大統領公式ホームページ)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・ベラルーシには、新型コロナの危険も、政治的そして物理的危険もない。抗議者や不満を抱える者は、政府団体や役所を襲撃しておらず、民主化プロセスの観点から平常状況にある。
- ・私が国や国民を守ることに對する非難があるが、私はそのために選ばれたのである。私は、社会的、国内そして国外の安全を国民と国家に保障する義務がある。西側のどなたかにとっては、その行動が気に入らないかもしれないが、それは彼らの趣向でしかない。
- ・ベラルーシは、いつでもアイスホッケーの世界大会を開催する用意がある。IIHF は、不公正な圧力に反対し耐えることができるはずである。もしラトビアがベラルーシにおける同大会に参加拒否するのであれば、それは史上最高の大会となるであろう。

【外交】

●露政府から新型コロナウイルス PCR 検査キット 3 万個を人道支援として受領

(1/5 ペラパン通信)

●駐欧米軍、ベラルーシ医療団体に医療機材を無償供与。

(1/5 ベラパン通信)

●国際人権連盟、世界拷問反対協会は、ベラルーシ政府に対し、スダレンコ氏(ゴメリ州人権活動家)への迫害の中止を要請。

(1/11 ベラパン通信)

【経済】

●2020年ベラルーシ外貨準備高、約19億ドル減少。2020年始時点で約94億ドルであったが、2021年1月1日時点では約75億ドルと19億ドル(約20.5%)減少した。

(1/6 ベラパン通信)

●世銀、ベラルーシの2021年GDP成長率をマイナス2.7%と予測。

(1/6 ベラパン通信)

●2020年のベラルーシ政府予算速報値公表

(1/6 ベラパン通信)

歳入は244億ルーブル、歳出は254億ルーブルと、約10億ルーブルの財政赤字。

●ベラルーシ財務省、2021年～2025年における政府債務残高を対GDP比40%未満に抑えることを発表。

(1/8 ベラパン通信)

●露ガスプロム銀行、2021年ベラルーシGDP成長率につき、2%までは可能であると発表。

(1/11 ベラパン通信)

【抗議勢力側の動き】

●ツェプカロ元候補陣営、ベラルーシ民主フォーラムの実施を提唱。

(1/6 ベラパン通信)

●コレスニコヴァ氏の拘留期間、3月8日まで延長

(1/6 ベラパン通信)

●人権団体、2020年8月9日以降、12月31日までのベラルーシ国内逮捕者は2万5千名超と発表。

(1/8 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、「スホド(当館注:ベラルーシ国民が政権との対話を実施する国民代表を選出するためデジタルプラットフォーム)の設立によって、ベラルーシ国民に対話の用意があると確認した。ここでは、26年間言葉を与えられなかった国民一人一人の声が聞かれるはずである。」と発言

(1/7 ベラパン通信)

●ラトウシュコ評議会幹部会メンバー、全ベラルーシ国民会議の参加者の制裁リストへの追加を1月18日から開始すると発表。

(1/9 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ルカシェンコ大統領に関し発言。

(1/10 ベラパン通信)

・ルカシェンコは、まるでベラルーシが彼と共に穏やかで繁栄した生活に戻ると説得しようとしている。彼は我々の首に縄をつけて安定を売ろうとしている。

・2020年、ベラルーシ国民は、彼を大統領と認めないと決めた。我々は、彼が武器を持って自身の役職にしがみついている限り、彼のフェイクや秘密の集会や偽りの国民投票、新たな法律を受け入れることはない。

●チハノフスカヤ元候補、Yara社(ノルウェー企業)に対してベラルーシ・カリ社との契約停止と抗議運動に参加する同社員の支援を要請。

(1/11 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ファゼル国際アイスホッケー連盟(IIHF)会長のベラルーシ訪問について「ファゼルのベラルーシ訪問はIIHFの名声を傷つけた」とコメントし、各国アイスホッケー連盟に、選手権のベラ

ルーシ開催が中止されない場合、ボイコットするよう
に要請。

(1/11 ベラパン通信)

(了)